

こたばの力 からだの力 こころの力  
園長室だより



城南学園幼稚園 園長 太田友子 令和5年11月6日

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園



「育つ」幼稚園をめざして  
対話を大切に…

ようやく過ごしやすい季節になりました。10月には運動会を無事に終え、ただいま「芸術の秋」真っ最中。11月19日(日)の作品展にむけて、子どもたちの製作活動にも拍車がかかってきました。

さて、園では、作品展までの子どもたちの活動のプロセスをご覧いただくために、11月7日(火)参観日を設定しました。歳児ごとの保育のねらいがありますので、意識してご覧ください。「活動を楽しむ」が共通のキーワードですが、歳児ごとに「楽しむ」に至るプロセスが異なります。



保育参観ですが、園でのお子さんの様子を知っていただくことはもちろんですが、もう一つ大きなねらいがあります。それは、ご家庭での子育てを振り返っていただく機会とすることです。子どもは「大人を小さくした存在」ではありません。幼児期の子どもには、その発達に大きな特性があります。それを踏まえた大人の言葉かけや関わり方が重要になります。

ややもすると「早く大人に近づけ！」とばかりに目に見える(できる)を子どもに求めがちです。皆さんはいかがですか。

しかし、脳科学や生物科学の観点から、幼児期の重要性が今新たに世界的な潮流として注目されています。幼児期の環境や体験、学びがその後の認知能力や非認知能力に与える影響が徐々に明らかにされてきつつあります。

さて、私は長年小学校教育に携わってきましたが、高学年以降伸びる児童にはいくつかの特徴があるように思います。一番避けたいのは、入学当初から「知っている！」を連発する子どもです。早期教育を受けてきた子どもには勉強のイメージに偏りが見られがちです。やがて学習に向き合う力が課題となって伸び悩みだします。

反対に、よく伸びる子の特徴として、ご家庭でよく子どもと対話をされていることです。子どもはご家庭での何気ない会話を学校でよく話してくれます。「お母さんが…言うてた」「お父さんに教えてもらった！」などです。他者の話を興味深く聴いて自分で考えようとする力をもっています。

ちなみに卒園児の保護者からは、小学校に入って「話を聴く力」「自分の考えを話す力」がすばらしいとお褒めいただいたと嬉しいお知らせをいただくことが多いです。

ご家庭と一緒に、子どもとの対話を大切にしながら、学びに向き合う力や人間性の基礎、いわゆる後伸びする土台となる力を育みたいものです。



「親になる」ではなく…

お誕生会では、年長児になると、お家の方からのメッセージをいただきます。どのお子さんにも誕生にまつわるドラマがあり、家族の一員として互いに支えあいながら暮らしておられることが感じ取れ、毎回感激しながらこころのこもったメッセージを聴かせていただいています。

6歳になったお子さん、実は、親としても「6歳」になったということですね。私にとっては、10月3日が「親」にしてもらえた記念日です。あの日の喜び、そして親になったことに対するとまどいと不安な思いを今でも鮮明に思い出されます。

あの日から一日一日少しずつ「親になってきた」と実感しますし、お恥ずかしい話ですが、今でも時々親として心配しすぎたり構いすぎたりしては猛省の連続です。まさに「親になっていく」現在進行中です。

さて、誕生会後の『ちょこっとサロン』では、子育てについて率直な思いを語っていただく場として開催しています。私自身も現代の子育て事情を知る貴重な学びの場となっています。10月では、現在子育てで大変悩んでいるとお声をお聞かせいただき、他の皆様も共感しながらうなずいておられました。

上にお子さんが二人おられる方にお話をむけると、「上の子ども二人もそれぞれで、その都度、これでいいのかなど迷いながらやってきたように思います。また、三番目の年中の子どもですが、最近聞き分けがよくなってきたとはいえ、これでいいのかなど、気になりながら見えています。何人子どもがいても、子育てについてこれ！って、言えるものがなくて…」言葉の一つ一つ丁寧に選びながら語っていただき、参加の皆さまも納得、共感でいっぱいになりました。

子育て事情はそれぞれですが、他者の声を聴くことで、自分の子育てへの向き合い方を見直すきっかけにすることができます。

子育てに正解はなく、自分の子育てを創りあげていく、「親になる」のではなく、そのプロセスで「親になっていく」のです。

多様性と創造性が重視される社会において、大人自身にも、独自性をもった生き方が求められています。

100の「できる」より、1つの「なぜかな？」を、親子で対話しながら見つけていってほしいです。

本園では「育つ幼稚園」として、子どもだけでなく、保護者の皆様にも、親として、人として育っていただくきっかけになれば幸いと願っています。



これから「園長室だより」などを通してお伝えしてまいります。



「せっかく子育てしているんだから」  
「親も子育てしながら自分と向き合い、一緒に育ってまいりましょう！」